平成 24 年 4 月 23 日

各　　位

会 社 名　　株式会社ネットプライスドットコム
代表者名　　代表取締役 兼 グループ CEO　　佐藤 輝英
（コード番号 3328 東証マザーズ）
問合せ先　　代表取締役副社長 兼 グループ CFO　中村 浩二
電　　話　　03－5739－3350

（訂正）「平成 22 年 9 月期 第 2 四半期決算短信」の一部訂正について

当社は、平成 24 年 3 月 30 日付の「監査法人による当年度監査の過程において指摘された事項に基づく過年度有価証券報告書、決算短信等の訂正に関するお知らせ」でお知らせしましたとおり、過年度決算短信の訂正作業を進めてまいりました。

このたび、平成 22 年 4 月 27 日付「平成 22 年 9 月期 第 2 四半期決算短信」の訂正作業が完了しましたので、訂正内容についてお知らせいたします。

訂正箇所が多数に上るため、訂正前および訂正後の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には下線＿＿を付して表示しております。

以　　上

【訂正後】

平成22年9月期 第2四半期決算短信

平成22年4月27日

上場会社名　株式会社 ネットプライスドットコム　　上場取引所　東
コード番号　3328　URL　http://www.netprice.com
代表者　（役職名）代表取締役社長兼グループCEO　（氏名）佐藤　輝英
問合せ先責任者（役職名）常務取締役兼グループCFO　（氏名）中村　浩二　TEL 03-5739-3350

四半期報告書提出予定日　平成22年5月14日
配当支払開始予定日　―

（百万円未満切捨て）

1. 平成22年9月期第2四半期の連結業績（平成21年10月1日～平成22年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）　（%表示は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年9月期第2四半期	6,434	△4.5	165	△47.9	179	△43.6	139	14.5
21年9月期第2四半期	6,741	―	317	―	318	―	122	―

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年9月期第2四半期	1,259.99	1,254.07
21年9月期第2四半期	1,100.16	1,094.65

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年9月期第2四半期	6,763	4,442	64.4	39,264.86
21年9月期	6,724	4,305	62.7	37,995.20

（参考）自己資本　22年9月期第2四半期　4,359百万円　21年9月期　4,218百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年9月期	―	―	―	―	―
22年9月期	―	―			
22年9月期（予想）			―	0.00	0.00

（注）配当予想の当四半期における修正の有無　無

3. 平成22年9月期の連結業績予想（平成21年10月1日～平成22年9月30日）

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,000	△1.0	230	△16.9	230	△7.9	100	52.7	900.70

（注）連結業績予想数値の当四半期における修正の有無　無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 ―社 (社名) 除外 ―社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
① 会計基準等の改正に伴う変更 無
② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年9月期第2四半期	113,024株	21年9月期	113,024株
② 期末自己株式数	22年9月期第2四半期	2,000株	21年9月期	2,000株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年9月期第2四半期	111,024株	21年9月期第2四半期	110,964株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、3ページ「定性的情報・財務諸表等」をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

１．連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一部の経済指標では回復の兆しが見られておりますが、景気は依然として厳しい状況で推移しました。

このような状況の中、当社グループでは、ギャザリング事業におきましては、タイムセール型販売方式である「24バリュー」の拡大と、商品単価及び商品粗利率の改善に注力し、バリューサイクル事業におきましては、ブランディング強化のための積極的な広告宣伝の実施と取扱領域の拡大による買い取りの積極展開を図りました。コマースインキュベーション事業におきましては、グローバルショッピングのサービスとクオリティの向上によるリピート率のアップや、海外居住者向け転送サービスの提携ＥＣサイトの拡大とサービスの向上、中国向けオンライン貿易サービスの販売チャンネル拡大などを進めてまいりました。

その結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は6,434,987千円（前年同期比4.5%減）、経常利益は179,145千円（前年同期比43.6%減）、四半期純利益に関しましては139,888千円（前年同期比14.5%増）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は、次のとおりであります。

① ギャザリング事業

ギャザリング事業におきましては、全体としては厳しい消費動向の影響を受けましたが、タイムセール型販売方式の「24バリュー」にて、12時間限定販売の「12バリュー」を開始するなど、さらなる高回転化による集客力の向上と購入機会の増加を図り、商品面では価格訴求型商品に加え、価値訴求型商品を増加させるなどの取り組みによる商品単価と商品粗利率の向上を進めました。また、広告宣伝費等固定費のコントロールや物流費用の改善は、計画通りに進捗しております。

以上の結果、当第２四半期連結累計期間における売上高は4,856,961千円（前年同期比16.7%減）、営業利益は106,987千円（前年同期比68.8%減）となりました。

② バリューサイクル事業

バリューサイクル事業におきましては、ブランディング強化のためのテレビCMなどを利用した積極的な広告宣伝や多数のメディアでのパブリシティ効果に加え、倉庫機能と人員の拡充によって買取・販売能力が増強されたことで、買取点数が増加いたしました。また、戦略的に利益率の高い商品の買取に注力した結果、売上総利益率を上昇させることができました。

以上の結果、当第２四半期連結累計期間における売上高は1,093,564千円（前年同期比63.4%増）、営業利益は114,786千円（前年同期比695.6%増）となりました。

③ コマースインキュベーション事業

コマースインキュベーション事業におきましては、グローバルショッピング「sekaimon」では、航空会社のマイレージサービスとの連携や同梱サービスの開始などのサービスの拡充とクオリティの向上に努め、集客力が順調に拡大しております。海外居住者向けの商品転送サービス「転送コム」では、提携ECサイトの拡大や、倉庫機能の拡充と同梱サービスの開始などサービス面の充実によって利用者数と転送件数を着実に増加させることができました。また中国向けオンライン貿易サービスでは、引き続き中国国内での顧客開拓や、ニーズの高い日本の商品開拓を進めるなど様々なトライアルを実施してまいりました。

以上の結果、当第２四半期連結累計期間における売上高は513,061千円（前年同期比87.9%増）、営業損失は127,664千円（前年同期は営業損失76,269千円）となりました。

２．連結財政状態に関する定性的情報

（１）財政状態の分析

① 資産

当第２四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比べ38,874千円増加し、6,763,781千円となりました。

内訳といたしましては、流動資産合計が4,960,457千円となり、前連結会計年度末と比べ104,971千円の増加となりました。その主な要因は、増加要因としては、現金及び預金228,657千円の増加であり、減少要因としては、受取手形及び売掛金89,709千円の減少であります。また、固定資産合計は、1,803,324千円となり、前連結会計年度末と比べ66,096千円の減少となりました。その主な要因は、増加要因としては、投資有価証券等の投資その他の資産100,294千円の増加であり、減少要因としては、のれん等の無形固定資産143,356千円、工具器具備品等の有形固定資産23,034千円の減少であります。

② 負債

当第２四半期連結会計期間末の負債合計は2,321,302千円となり、前連結会計年度末と比べ97,917千円の減少となりました。その主な減少要因は、未払法人税等57,582千円の減少であります。

③ 純資産

当第２四半期連結会計期間末の純資産合計は4,442,479千円となり、前連結会計年度末と比べ136,791千円の増加となりました。その主な増加要因は、利益剰余金139,949千円の増加であります。

（２）キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ228,657千円増加し、3,445,063千円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間において営業活動による資金の増加は、344,812千円となりました。その主な要因は、増加要因としては、税金等調整前四半期純利益199,818千円、売上債権の減少101,764千円、減価償却費95,749千円、法人税等の還付金63,024千円であり、減少要因としては、法人税等の支払額134,835千円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間において投資活動による資金の減少は、63,838千円となりました。その主な要因は、増加要因としては、無形固定資産の売却による収入76,804千円であり、減少要因としては、投資有価証券の取得による支出84,665千円、無形固定資産の取得による支出40,533千円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間において財務活動による資金の減少は、50,000千円となりました。その減少要因は、短期借入金の返済による支出50,000千円であります。

３．連結業績予想に関する定性的情報

平成21年10月28日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

４．その他

（１）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

（２）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

５．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	当第２四半期連結会計期間末 （平成22年３月31日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成21年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,445,063	3,216,405
受取手形及び売掛金	991,205	1,080,914
商品	208,409	206,839
繰延税金資産	65,024	49,360
その他	254,265	305,170
貸倒引当金	△3,511	△3,204
流動資産合計	4,960,457	4,855,486
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	120,216	120,595
減価償却累計額	△30,922	△23,437
建物及び構築物（純額）	89,294	97,158
工具、器具及び備品	366,537	374,383
減価償却累計額	△287,014	△279,688
工具、器具及び備品（純額）	79,523	94,694
有形固定資産合計	168,818	191,852
無形固定資産		
のれん	189,206	215,670
その他	249,054	365,947
無形固定資産合計	438,260	581,617
投資その他の資産		
投資有価証券	444,935	368,689
関係会社株式	227,186	207,137
繰延税金資産	18,438	22,701
その他	505,684	497,421
投資その他の資産合計	1,196,245	1,095,951
固定資産合計	1,803,324	1,869,421
資産合計	6,763,781	6,724,907

(単位：千円)

	当第２四半期連結会計期間末 (平成22年３月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年９月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	927,777	908,856
短期借入金	※1 700,000	※1 750,000
未払法人税等	87,403	144,986
ポイント引当金	2,919	5,823
その他	392,722	399,075
流動負債合計	2,110,823	2,208,741
固定負債		
新株予約権付社債	200,000	200,000
その他	10,478	10,478
固定負債合計	210,478	210,478
負債合計	2,321,302	2,419,219
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,331,122	2,331,122
資本剰余金	2,190,760	2,190,760
利益剰余金	121,484	△18,465
自己株式	△285,067	△285,067
株主資本合計	4,358,300	4,218,351
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1,458	△7,268
為替換算調整勘定	2,499	7,296
評価・換算差額等合計	1,041	27
新株予約権	17,525	13,343
少数株主持分	65,612	73,965
純資産合計	4,442,479	4,305,687
負債純資産合計	6,763,781	6,724,907

（２）四半期連結損益計算書

（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成20年10月１日 至　平成21年３月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成21年10月１日 至　平成22年３月31日）
売上高	6,741,044	6,434,987
売上原価	4,092,681	3,900,431
売上総利益	2,648,363	2,534,555
販売費及び一般管理費	※1 2,331,061	※1 2,369,528
営業利益	317,302	165,026
営業外収益		
受取利息	1,796	810
為替差益	4,510	16,351
有価証券利息	1,804	－
投資有価証券売却益	14,572	－
デリバティブ評価益	5,521	－
業務受託収入	－	4,000
その他	9,201	13,663
営業外収益合計	37,406	34,826
営業外費用		
支払利息	1,805	4,668
投資事業組合運用損	16,130	10,713
持分法による投資損失	9,614	2,355
デリバティブ解約損	8,727	－
その他	336	2,970
営業外費用合計	36,615	20,707
経常利益	318,093	179,145
特別利益		
持分変動利益	－	2,404
固定資産売却益	－	3,331
事業譲渡益	－	20,000
特別利益合計	－	25,735
特別損失		
減損損失	2,870	－
投資有価証券評価損	－	2,198
固定資産除却損	40,467	2,864
特別損失合計	43,338	5,062
税金等調整前四半期純利益	274,755	199,818
法人税、住民税及び事業税	141,707	78,564
法人税等調整額	15,256	△11,400
法人税等合計	156,963	67,163
少数株主損失（△）	△4,286	△7,233
四半期純利益	122,078	139,888

（第２四半期連結会計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結会計期間 （自　平成21年１月１日 至　平成21年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （自　平成22年１月１日 至　平成22年３月31日）
売上高	3,292,656	3,209,104
売上原価	1,994,769	1,952,977
売上総利益	1,297,887	1,256,126
販売費及び一般管理費	※1 1,154,171	※1 1,167,086
営業利益	143,716	89,039
営業外収益		
受取利息	1,401	500
為替差益	41,328	1,781
有価証券利息	831	－
持分法による投資利益	3,775	1,194
デリバティブ評価益	13,997	－
業務受託収入	－	2,400
その他	5,321	8,517
営業外収益合計	66,655	14,395
営業外費用		
支払利息	1,011	2,201
投資事業組合運用損	3,760	6,989
デリバティブ解約損	8,727	－
その他	316	59
営業外費用合計	13,815	9,250
経常利益	196,556	94,184
特別利益		
事業譲渡益	－	20,000
特別利益合計	－	20,000
特別損失		
減損損失	2,870	－
投資有価証券評価損	－	2,198
固定資産除却損	－	2,864
特別損失合計	2,870	5,062
税金等調整前四半期純利益	193,686	109,122
法人税、住民税及び事業税	65,190	39,402
法人税等調整額	2,206	△34,537
法人税等合計	67,397	4,865
少数株主損失（△）	△575	△6,980
四半期純利益	126,864	111,237

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成20年10月１日 至　平成21年３月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成21年10月１日 至　平成22年３月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	274,755	199,818
減価償却費	88,683	95,749
減損損失	2,870	－
のれん償却額	26,381	26,464
株式報酬費用	4,105	4,181
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△3,169	307
ポイント引当金の増減額（△は減少）	△13,971	△2,903
受取利息及び受取配当金	△3,600	△846
支払利息及び社債利息	1,805	4,668
為替差損益（△は益）	△16,504	△19,127
持分法による投資損益（△は益）	9,614	2,355
固定資産売却損益（△は益）	－	△3,331
持分変動損益（△は益）	－	△2,404
事業譲渡損益（△は益）	－	△20,000
投資有価証券売却損益（△は益）	△14,572	－
投資事業組合運用損益（△は益）	16,130	10,713
投資有価証券評価損益（△は益）	－	2,198
デリバティブ評価損益（△は益）	△5,521	－
デリバティブ解約損益（△は益）	8,727	－
固定資産除却損	40,467	2,864
売上債権の増減額（△は増加）	76,166	101,764
たな卸資産の増減額（△は増加）	39,902	△1,126
仕入債務の増減額（△は減少）	64,398	19,154
未払金の増減額（△は減少）	△642	△22,017
未払消費税等の増減額（△は減少）	△3,395	1,243
その他	△70,529	21,146
小計	522,103	420,872
利息及び配当金の受取額	3,491	717
利息の支払額	△1,781	△4,966
法人税等の支払額	△96,295	△134,835
法人税等の還付額	－	63,024
営業活動によるキャッシュ・フロー	427,518	344,812

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成20年10月１日 至　平成21年３月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成21年10月１日 至　平成22年３月31日）
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△20,441	△6,631
有形固定資産の売却による収入	－	1,466
無形固定資産の取得による支出	△147,341	△40,533
無形固定資産の売却による収入	－	76,804
投資有価証券の取得による支出	△28,300	△84,665
投資有価証券の売却による収入	41,540	－
長期性預金の解約による収入	91,272	－
敷金及び保証金の差入による支出	△416	△18,431
敷金及び保証金の回収による収入	－	8,691
貸付けによる支出	△15,000	△22,500
貸付金の回収による収入	2,067	21,960
関係会社株式の取得による支出	－	△20,000
事業譲渡による収入	－	20,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△76,619	△63,838
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	400,000	－
短期借入金の返済による支出	－	△50,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	400,000	△50,000
現金及び現金同等物に係る換算差額	13,548	△2,316
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	764,447	228,657
現金及び現金同等物の期首残高	1,944,246	3,216,405
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 2,708,694	※1 3,445,063

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第２四半期連結会計期間（自　平成21年１月１日　至　平成21年３月31日）

	ギャザリング事業（千円）	コマースインキュベーション事業（千円）	計（千円）	消去又は全社（千円）	連結（千円）
売上高					
（１）外部顧客に対する売上高	2,813,807	478,849	3,292,656	―	3,292,656
（２）セグメント間の内部売上高又は振替高	1,685	14,697	16,383	△16,383	―
計	2,815,493	493,546	3,309,040	△16,383	3,292,656
営業利益又は営業損失（△）	117,628	△16,801	100,827	42,888	143,716

（注）１．事業区分の方法

事業の区分は、事業の性質の類似性及び内部管理上採用している区分に基づき、経営の実態が具体的かつ適切に開示できるよう、区分しております。

２．各区分に属する主要な事業

事業区分	主要事業
ギャザリング事業	インターネット通信販売事業(「ちびギャザ」「ネットプライス」)
コマース インキュベーション事業	バリューサイクル事業(「Brandear」「Defacto Estate」)、グローバルショッピング事業（「sekaimon」）、美容商品企画販売事業、転送サービス事業（「転送コム」）

当第２四半期連結会計期間（自　平成22年１月１日　至　平成22年３月31日）

	ギャザリング事業（千円）	バリューサイクル事業（千円）	コマースインキュベーション事業（千円）	計（千円）	消去又は全社（千円）	連結（千円）
売上高						
（１）外部顧客に対する売上高	2,396,731	558,942	253,430	3,209,104	―	3,209,104
（２）セグメント間の内部売上高又は振替高	212	―	14,071	14,283	△14,283	―
計	2,396,944	558,942	267,501	3,223,387	△14,283	3,209,104
営業利益又は営業損失（△）	76,241	46,362	△81,545	41,058	47,981	89,039

（注）１．事業区分の方法

事業の区分は、事業の性質の類似性及び内部管理上採用している区分に基づき、経営の実態が具体的かつ適切に開示できるよう、区分しております。

２．各区分に属する主要な事業

事業区分	主要事業
ギャザリング事業	インターネット通信販売事業(「ちびギャザ」「ネットプライス」)
バリューサイクル事業	バリューサイクル事業(「Brandear」)
コマースインキュベーション事業	グローバルショッピング事業（「sekaimon」）、美容商品企画販売事業(「Syan」)、転送サービス事業(「転送コム」)

（事業区分の方法の変更）

従来「コマースインキュベーション事業」に含めて表示していたバリューサイクル事業は、当該事業区分の売上割合が増加しており今後もこの傾向が予想されるため、前連結会計年度より「バリューサイクル事業」として区分表示することに変更しました。

なお、前第２四半期連結会計期間の事業の種類別セグメント情報を変更後の事業区分により表示すると、以下のとおりとなります。

前第２四半期連結会計期間（自　平成21年１月１日　至　平成21年３月31日）

	ギャザリング事業（千円）	バリューサイクル事業（千円）	コマースインキュベーション事業（千円）	計（千円）	消去又は全社（千円）	連結（千円）
売上高						
（１）外部顧客に対する売上高	2,813,807	326,789	152,059	3,292,656	―	3,292,656
（２）セグメント間の内部売上高又は振替高	1,685	―	14,697	16,383	△16,383	―
計	2,815,493	326,789	166,756	3,309,040	△16,383	3,292,656
営業利益又は営業損失（△）	117,628	14,454	△31,255	100,827	42,888	143,716

前第２四半期連結累計期間（自　平成20年10月１日　至　平成21年３月31日）

	ギャザリング事業（千円）	コマースインキュベーション事業（千円）	計（千円）	消去又は全社（千円）	連結（千円）
売上高					
（１）外部顧客に対する売上高	5,827,247	913,796	6,741,044	―	6,741,044
（２）セグメント間の内部売上高又は振替高	3,283	28,457	31,741	△31,741	―
計	5,830,531	942,254	6,772,785	△31,741	6,741,044
営業利益又は営業損失（△）	342,457	△61,841	280,616	36,686	317,302

（注）１．事業区分の方法

事業の区分は、事業の性質の類似性及び内部管理上採用している区分に基づき、経営の実態が具体的かつ適切に開示できるよう、区分しております。

２．各区分に属する主要な事業

事業区分	主要事業
ギャザリング事業	インターネット通信販売事業(「ちびギャザ」「ネットプライス」)
コマースインキュベーション事業	バリューサイクル事業(「Brandear」「Defacto Estate」)、グローバルショッピング事業（「sekaimon」）、美容商品企画販売事業、転送サービス事業（「転送コム」）

当第２四半期連結累計期間（自　平成21年10月１日　至　平成22年３月31日）

	ギャザリング事業（千円）	バリューサイクル事業（千円）	コマースインキュベーション事業（千円）	計（千円）	消去又は全社（千円）	連結（千円）
売上高						
（１）外部顧客に対する売上高	4,856,465	1,093,564	484,957	6,434,987	―	6,434,987
（２）セグメント間の内部売上高又は振替高	495	―	28,103	28,599	△28,599	―
計	4,856,961	1,093,564	513,061	6,463,587	△28,599	6,434,987
営業利益又は営業損失（△）	106,987	114,786	△127,664	94,109	70,917	165,026

（注）１．事業区分の方法

事業の区分は、事業の性質の類似性及び内部管理上採用している区分に基づき、経営の実態が具体的かつ適切に開示できるよう、区分しております。

２．各区分に属する主要な事業

事業区分	主要事業
ギャザリング事業	インターネット通信販売事業(「ちびギャザ」「ネットプライス」)
バリューサイクル事業	バリューサイクル事業(「Brandear」)
コマースインキュベーション事業	グローバルショッピング事業（「sekaimon」）、美容商品企画販売事業(「Syan」)、転送サービス事業(「転送コム」)

（事業区分の方法の変更）

従来「コマースインキュベーション事業」に含めて表示していたバリューサイクル事業は、当該事業区分の売上割合が増加しており今後もこの傾向が予想されるため、前連結会計年度より「バリューサイクル事業」として区分表示することに変更しました。

なお、前第２四半期連結累計期間の事業の種類別セグメント情報を変更後の事業区分により表示すると、以下のとおりとなります。

前第２四半期連結累計期間（自　平成20年10月１日　至　平成21年３月31日）

	ギャザリング事業（千円）	バリューサイクル事業（千円）	コマースインキュベーション事業（千円）	計（千円）	消去又は全社（千円）	連結（千円）
売上高						
（１）外部顧客に対する売上高	5,827,247	669,228	244,568	6,741,044	―	6,741,044
（２）セグメント間の内部売上高又は振替高	3,283	―	28,457	31,741	△31,741	―
計	5,830,531	669,228	273,026	6,772,785	△31,741	6,741,044
営業利益又は営業損失（△）	342,457	14,428	△76,269	280,616	36,686	317,302

〔所在地別セグメント情報〕

前第２四半期連結会計期間（自　平成21年１月１日　至　平成21年３月31日）及び当第２四半期連結会計期間（自　平成22年１月１日　至　平成22年３月31日）並びに前第２四半期連結累計期間（自　平成20年10月１日　至　平成21年３月31日）及び当第２四半期連結累計期間（自　平成21年10月１日　至　平成22年３月31日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合がいずれも90％超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

〔海外売上高〕

前第２四半期連結会計期間（自　平成21年１月１日　至　平成21年３月31日）及び当第２四半期連結会計期間（自　平成22年１月１日　至　平成22年３月31日）並びに前第２四半期連結累計期間（自　平成20年10月１日　至　平成21年３月31日）及び当第２四半期連結累計期間（自　平成21年10月１日　至　平成22年３月31日）

海外売上高は、いずれも連結売上高の10％未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

６．その他の情報

該当事項はありません。

【訂正前】

平成22年9月期 第2四半期決算短信

平成22年4月27日

上場会社名　株式会社 ネットプライスドットコム　　上場取引所　東
コード番号　3328　URL　http://www.netprice.com
代表者　（役職名）代表取締役社長兼グループCEO　（氏名）佐藤　輝英
問合せ先責任者（役職名）常務取締役兼グループCFO　（氏名）中村　浩二　TEL 03-5739-3350

四半期報告書提出予定日　平成22年5月14日
配当支払開始予定日　―

（百万円未満切捨て）

1. 平成22年9月期第2四半期の連結業績（平成21年10月1日～平成22年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）　（%表示は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年9月期第2四半期	6,434	△4.5	165	△47.9	160	△46.9	123	16.7
21年9月期第2四半期	6,741	―	317	―	301	―	105	―

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年9月期第2四半期	1,109.94	1,104.73
21年9月期第2四半期	951.48	946.71

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年9月期第2四半期	6,763	4,442	64.4	39,264.86
21年9月期	6,724	4,305	62.7	37,995.20

（参考）自己資本　22年9月期第2四半期　4,359百万円　21年9月期　4,218百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年9月期	―	―	―	―	―
22年9月期	―	―			
22年9月期（予想）			―	0.00	0.00

（注）配当予想の当四半期における修正の有無　無

3. 平成22年9月期の連結業績予想（平成21年10月1日～平成22年9月30日）

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,000	△1.0	230	△16.9	230	△16.3	100	14.9	900.70

（注）連結業績予想数値の当四半期における修正の有無　無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 ―社 (社名) 除外 ―社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
① 会計基準等の改正に伴う変更 無
② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年9月期第2四半期	113,024株	21年9月期	113,024株
② 期末自己株式数	22年9月期第2四半期	2,000株	21年9月期	2,000株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年9月期第2四半期	111,024株	21年9月期第2四半期	110,964株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、3ページ「定性的情報・財務諸表等」をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

１．連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一部の経済指標では回復の兆しが見られておりますが、景気は依然として厳しい状況で推移しました。

このような状況の中、当社グループでは、ギャザリング事業におきましては、タイムセール型販売方式である「24バリュー」の拡大と、商品単価及び商品粗利率の改善に注力し、バリューサイクル事業におきましては、ブランディング強化のための積極的な広告宣伝の実施と取扱領域の拡大による買い取りの積極展開を図りました。コマースインキュベーション事業におきましては、グローバルショッピングのサービスとクオリティの向上によるリピート率のアップや、海外居住者向け転送サービスの提携ＥＣサイトの拡大とサービスの向上、中国向けオンライン貿易サービスの販売チャンネル拡大などを進めてまいりました。

その結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は6,434,987千円（前年同期比4.5%減）、経常利益は160,017千円（前年同期比46.9%減）、四半期純利益に関しましては123,230千円（前年同期比16.7%増）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は、次のとおりであります。

① ギャザリング事業

ギャザリング事業におきましては、全体としては厳しい消費動向の影響を受けましたが、タイムセール型販売方式の「24バリュー」にて、12時間限定販売の「12バリュー」を開始するなど、さらなる高回転化による集客力の向上と購入機会の増加を図り、商品面では価格訴求型商品に加え、価値訴求型商品を増加させるなどの取り組みによる商品単価と商品粗利率の向上を進めました。また、広告宣伝費等固定費のコントロールや物流費用の改善は、計画通りに進捗しております。

以上の結果、当第２四半期連結累計期間における売上高は4,856,961千円（前年同期比16.7%減）、営業利益は106,987千円（前年同期比68.8%減）となりました。

② バリューサイクル事業

バリューサイクル事業におきましては、ブランディング強化のためのテレビCMなどを利用した積極的な広告宣伝や多数のメディアでのパブリシティ効果に加え、倉庫機能と人員の拡充によって買取・販売能力が増強されたことで、買取点数が増加いたしました。また、戦略的に利益率の高い商品の買取に注力した結果、売上総利益率を上昇させることができました。

以上の結果、当第２四半期連結累計期間における売上高は1,093,564千円（前年同期比63.4%増）、営業利益は114,786千円（前年同期比695.6%増）となりました。

③ コマースインキュベーション事業

コマースインキュベーション事業におきましては、グローバルショッピング「sekaimon」では、航空会社のマイレージサービスとの連携や同梱サービスの開始などのサービスの拡充とクオリティの向上に努め、集客力が順調に拡大しております。海外居住者向けの商品転送サービス「転送コム」では、提携ECサイトの拡大や、倉庫機能の拡充と同梱サービスの開始などサービス面の充実によって利用者数と転送件数を着実に増加させることができました。また中国向けオンライン貿易サービスでは、引き続き中国国内での顧客開拓や、ニーズの高い日本の商品開拓を進めるなど様々なトライアルを実施してまいりました。

以上の結果、当第２四半期連結累計期間における売上高は513,061千円（前年同期比87.9%増）、営業損失は127,664千円（前年同期は営業損失76,269千円）となりました。

２．連結財政状態に関する定性的情報

（１）財政状態の分析

① 資産

当第２四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比べ38,874千円増加し、6,763,781千円となりました。

内訳といたしましては、流動資産合計が4,960,457千円となり、前連結会計年度末と比べ104,971千円の増加となりました。その主な要因は、増加要因としては、現金及び預金228,657千円の増加であり、減少要因としては、受取手形及び売掛金89,709千円の減少であります。また、固定資産合計は、1,803,324千円となり、前連結会計年度末と比べ66,096千円の減少となりました。その主な要因は、増加要因としては、投資有価証券等の投資その他の資産100,294千円の増加であり、減少要因としては、のれん等の無形固定資産143,356千円、工具器具備品等の有形固定資産23,034千円の減少であります。

② 負債

当第２四半期連結会計期間末の負債合計は2,321,302千円となり、前連結会計年度末と比べ97,917千円の減少となりました。その主な減少要因は、未払法人税等57,582千円の減少であります。

③ 純資産

当第２四半期連結会計期間末の純資産合計は4,442,479千円となり、前連結会計年度末と比べ136,791千円の増加となりました。その主な増加要因は、利益剰余金123,291千円の増加であります。

（２）キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ228,657千円増加し、3,445,063千円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間において営業活動による資金の増加は、344,812千円となりました。その主な要因は、増加要因としては、税金等調整前四半期純利益180,690千円、売上債権の減少101,764千円、減価償却費95,749千円、法人税等の還付金63,024千円であり、減少要因としては、法人税等の支払額134,835千円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間において投資活動による資金の減少は、63,838千円となりました。その主な要因は、増加要因としては、無形固定資産の売却による収入76,804千円であり、減少要因としては、投資有価証券の取得による支出84,665千円、無形固定資産の取得による支出40,533千円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間において財務活動による資金の減少は、50,000千円となりました。その減少要因は、短期借入金の返済による支出50,000千円であります。

３．連結業績予想に関する定性的情報

平成21年10月28日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

４．その他

（１）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

（２）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

５．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	当第２四半期連結会計期間末 （平成22年３月31日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成21年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,445,063	3,216,405
受取手形及び売掛金	991,205	1,080,914
商品	208,409	206,839
繰延税金資産	65,024	49,360
その他	254,265	305,170
貸倒引当金	△3,511	△3,204
流動資産合計	4,960,457	4,855,486
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	120,216	120,595
減価償却累計額	△30,922	△23,437
建物及び構築物（純額）	89,294	97,158
工具、器具及び備品	366,537	374,383
減価償却累計額	△287,014	△279,688
工具、器具及び備品（純額）	79,523	94,694
有形固定資産合計	168,818	191,852
無形固定資産		
のれん	189,206	215,670
その他	249,054	365,947
無形固定資産合計	438,260	581,617
投資その他の資産		
投資有価証券	444,935	368,689
関係会社株式	227,186	207,137
繰延税金資産	18,438	22,701
その他	505,684	497,421
投資その他の資産合計	1,196,245	1,095,951
固定資産合計	1,803,324	1,869,421
資産合計	6,763,781	6,724,907

(単位：千円)

	当第２四半期連結会計期間末 (平成22年３月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年９月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	927,777	908,856
短期借入金	※1 700,000	※1 750,000
未払法人税等	87,403	144,986
ポイント引当金	2,919	5,823
その他	392,722	399,075
流動負債合計	2,110,823	2,208,741
固定負債		
新株予約権付社債	200,000	200,000
その他	10,478	10,478
固定負債合計	210,478	210,478
負債合計	2,321,302	2,419,219
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,331,122	2,331,122
資本剰余金	2,190,760	2,190,760
利益剰余金	127,389	4,098
自己株式	△285,067	△285,067
株主資本合計	4,364,205	4,240,914
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1,458	△7,268
為替換算調整勘定	△3,404	△15,267
評価・換算差額等合計	△4,863	△22,535
新株予約権	17,525	13,343
少数株主持分	65,612	73,965
純資産合計	4,442,479	4,305,687
負債純資産合計	6,763,781	6,724,907

（２）四半期連結損益計算書

（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成20年10月１日 至　平成21年３月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成21年10月１日 至　平成22年３月31日）
売上高	6,741,044	6,434,987
売上原価	4,092,681	3,900,431
売上総利益	2,648,363	2,534,555
販売費及び一般管理費	※1 2,331,061	※1 2,369,528
営業利益	317,302	165,026
営業外収益		
受取利息	1,796	810
有価証券利息	1,804	－
投資有価証券売却益	14,572	－
デリバティブ評価益	5,521	－
業務受託収入	－	4,000
その他	9,201	13,663
営業外収益合計	32,896	18,474
営業外費用		
支払利息	1,805	4,668
投資事業組合運用損	16,130	10,713
持分法による投資損失	9,614	2,355
為替差損	11,994	2,776
デリバティブ解約損	8,727	－
その他	336	2,970
営業外費用合計	48,609	23,483
経常利益	301,589	160,017
特別利益		
持分変動利益	－	2,404
固定資産売却益	－	3,331
事業譲渡益	－	20,000
特別利益合計	－	25,735
特別損失		
減損損失	2,870	－
投資有価証券評価損	－	2,198
固定資産除却損	40,467	2,864
特別損失合計	43,338	5,062
税金等調整前四半期純利益	258,251	180,690
法人税、住民税及び事業税	141,707	78,564
法人税等調整額	15,256	△11,400
法人税等合計	156,963	67,163
少数株主損失（△）	△4,292	△9,703
四半期純利益	105,580	123,230

（第２四半期連結会計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結会計期間 （自　平成21年１月１日 至　平成21年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （自　平成22年１月１日 至　平成22年３月31日）
売上高	3,292,656	3,209,104
売上原価	1,994,769	1,952,977
売上総利益	1,297,887	1,256,126
販売費及び一般管理費	※1 1,154,171	※1 1,167,086
営業利益	143,716	89,039
営業外収益		
受取利息	1,401	500
有価証券利息	831	－
持分法による投資利益	3,775	1,194
デリバティブ評価益	13,997	－
業務受託収入	－	2,400
その他	5,321	8,517
営業外収益合計	25,327	12,613
営業外費用		
支払利息	1,011	2,201
投資事業組合運用損	3,760	6,989
為替差損	28,564	1,472
デリバティブ解約損	8,727	－
その他	316	59
営業外費用合計	42,380	10,722
経常利益	126,663	90,930
特別利益		
事業譲渡益	－	20,000
特別利益合計	－	20,000
特別損失		
減損損失	2,870	－
投資有価証券評価損	－	2,198
固定資産除却損	－	2,864
特別損失合計	2,870	5,062
税金等調整前四半期純利益	123,792	105,867
法人税、住民税及び事業税	65,190	39,402
法人税等調整額	2,206	△34,537
法人税等合計	67,397	4,865
少数株主損失（△）	△2,618	△7,467
四半期純利益	59,013	108,470

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成20年10月１日 至　平成21年３月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成21年10月１日 至　平成22年３月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	258,251	180,690
減価償却費	88,683	95,749
減損損失	2,870	－
のれん償却額	26,381	26,464
株式報酬費用	4,105	4,181
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△3,169	307
ポイント引当金の増減額（△は減少）	△13,971	△2,903
受取利息及び受取配当金	△3,600	△846
支払利息及び社債利息	1,805	4,668
持分法による投資損益（△は益）	9,614	2,355
固定資産売却損益（△は益）	－	△3,331
持分変動損益（△は益）	－	△2,404
事業譲渡損益（△は益）	－	△20,000
投資有価証券売却損益（△は益）	△14,572	－
投資事業組合運用損益（△は益）	16,130	10,713
投資有価証券評価損益（△は益）	－	2,198
デリバティブ評価損益（△は益）	△5,521	－
デリバティブ解約損益（△は益）	8,727	－
固定資産除却損	40,467	2,864
売上債権の増減額（△は増加）	76,166	101,764
たな卸資産の増減額（△は増加）	39,902	△1,126
仕入債務の増減額（△は減少）	64,398	19,154
未払金の増減額（△は減少）	△286	△22,017
未払消費税等の増減額（△は減少）	△3,395	1,243
その他	△70,884	21,146
小計	522,103	420,872
利息及び配当金の受取額	3,491	717
利息の支払額	△1,781	△4,966
法人税等の支払額	△96,295	△134,835
法人税等の還付額	－	63,024
営業活動によるキャッシュ・フロー	427,518	344,812

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成20年10月１日 至　平成21年３月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成21年10月１日 至　平成22年３月31日）
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△20,441	△6,631
有形固定資産の売却による収入	－	1,466
無形固定資産の取得による支出	△147,341	△40,533
無形固定資産の売却による収入	－	76,804
投資有価証券の取得による支出	△28,300	△84,665
投資有価証券の売却による収入	41,540	－
長期性預金の解約による収入	91,272	－
敷金及び保証金の差入による支出	△416	△18,431
敷金及び保証金の回収による収入	－	8,691
貸付けによる支出	△15,000	△22,500
貸付金の回収による収入	2,067	21,960
関係会社株式の取得による支出	－	△20,000
事業譲渡による収入	－	20,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△76,619	△63,838
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	400,000	－
短期借入金の返済による支出	－	△50,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	400,000	△50,000
現金及び現金同等物に係る換算差額	13,548	△2,316
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	764,447	228,657
現金及び現金同等物の期首残高	1,944,246	3,216,405
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 2,708,694	※1 3,445,063

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第２四半期連結会計期間（自　平成21年１月１日　至　平成21年３月31日）

	ギャザリング事業（千円）	コマースインキュベーション事業（千円）	計（千円）	消去又は全社（千円）	連結（千円）
売上高					
（１）外部顧客に対する売上高	2,813,807	478,849	3,292,656	―	3,292,656
（２）セグメント間の内部売上高又は振替高	1,685	14,697	16,383	△16,383	―
計	2,815,493	493,546	3,309,040	△16,383	3,292,656
営業利益又は営業損失（△）	117,628	△16,801	100,827	42,888	143,716

（注）１．事業区分の方法

事業の区分は、事業の性質の類似性及び内部管理上採用している区分に基づき、経営の実態が具体的かつ適切に開示できるよう、区分しております。

２．各区分に属する主要な事業

事業区分	主要事業
ギャザリング事業	インターネット通信販売事業(「ちびギャザ」「ネットプライス」)
コマース インキュベーション事業	バリューサイクル事業(「Brandear」「Defacto Estate」)、グローバルショッピング事業（「sekaimon」）、美容商品企画販売事業、転送サービス事業（「転送コム」）

当第２四半期連結会計期間（自　平成22年１月１日　至　平成22年３月31日）

	ギャザリング事業（千円）	バリューサイクル事業（千円）	コマースインキュベーション事業（千円）	計（千円）	消去又は全社（千円）	連結（千円）
売上高						
（１）外部顧客に対する売上高	2,396,731	558,942	253,430	3,209,104	―	3,209,104
（２）セグメント間の内部売上高又は振替高	212	―	14,071	14,283	△14,283	―
計	2,396,944	558,942	267,501	3,223,387	△14,283	3,209,104
営業利益又は営業損失（△）	76,241	46,362	△81,545	41,058	47,981	89,039

（注）１．事業区分の方法

事業の区分は、事業の性質の類似性及び内部管理上採用している区分に基づき、経営の実態が具体的かつ適切に開示できるよう、区分しております。

２．各区分に属する主要な事業

事業区分	主要事業
ギャザリング事業	インターネット通信販売事業(「ちびギャザ」「ネットプライス」)
バリューサイクル事業	バリューサイクル事業(「Brandear」)
コマースインキュベーション事業	グローバルショッピング事業（「sekaimon」）、美容商品企画販売事業(「Syan」)、転送サービス事業(「転送コム」)

（事業区分の方法の変更）

従来「コマースインキュベーション事業」に含めて表示していたバリューサイクル事業は、当該事業区分の売上割合が増加しており今後もこの傾向が予想されるため、前連結会計年度より「バリューサイクル事業」として区分表示することに変更しました。

なお、前第２四半期連結会計期間の事業の種類別セグメント情報を変更後の事業区分により表示すると、以下のとおりとなります。

前第２四半期連結会計期間（自　平成21年１月１日　至　平成21年３月31日）

	ギャザリング事業（千円）	バリューサイクル事業（千円）	コマースインキュベーション事業（千円）	計（千円）	消去又は全社（千円）	連結（千円）
売上高						
（１）外部顧客に対する売上高	2,813,807	326,789	152,059	3,292,656	―	3,292,656
（２）セグメント間の内部売上高又は振替高	1,685	―	14,697	16,383	△16,383	―
計	2,815,493	326,789	166,756	3,309,040	△16,383	3,292,656
営業利益又は営業損失（△）	117,628	14,454	△31,255	100,827	42,888	143,716

前第２四半期連結累計期間（自　平成20年10月１日　至　平成21年３月31日）

	ギャザリング事業（千円）	コマースインキュベーション事業（千円）	計（千円）	消去又は全社（千円）	連結（千円）
売上高					
（１）外部顧客に対する売上高	5,827,247	913,796	6,741,044	―	6,741,044
（２）セグメント間の内部売上高又は振替高	3,283	28,457	31,741	△31,741	―
計	5,830,531	942,254	6,772,785	△31,741	6,741,044
営業利益又は営業損失（△）	342,457	△61,841	280,616	36,686	317,302

（注）１．事業区分の方法

事業の区分は、事業の性質の類似性及び内部管理上採用している区分に基づき、経営の実態が具体的かつ適切に開示できるよう、区分しております。

２．各区分に属する主要な事業

事業区分	主要事業
ギャザリング事業	インターネット通信販売事業(「ちびギャザ」「ネットプライス」)
コマースインキュベーション事業	バリューサイクル事業(「Brandear」「Defacto Estate」)、グローバルショッピング事業（「sekaimon」）、美容商品企画販売事業、転送サービス事業（「転送コム」）

当第２四半期連結累計期間（自　平成21年10月１日　至　平成22年３月31日）

	ギャザリング事業（千円）	バリューサイクル事業（千円）	コマースインキュベーション事業（千円）	計（千円）	消去又は全社（千円）	連結（千円）
売上高						
（１）外部顧客に対する売上高	4,856,465	1,093,564	484,957	6,434,987	―	6,434,987
（２）セグメント間の内部売上高又は振替高	495	―	28,103	28,599	△28,599	―
計	4,856,961	1,093,564	513,061	6,463,587	△28,599	6,434,987
営業利益又は営業損失（△）	106,987	114,786	△127,664	94,109	70,917	165,026

（注）１．事業区分の方法

事業の区分は、事業の性質の類似性及び内部管理上採用している区分に基づき、経営の実態が具体的かつ適切に開示できるよう、区分しております。

２．各区分に属する主要な事業

事業区分	主要事業
ギャザリング事業	インターネット通信販売事業(「ちびギャザ」「ネットプライス」)
バリューサイクル事業	バリューサイクル事業(「Brandear」)
コマースインキュベーション事業	グローバルショッピング事業（「sekaimon」）、美容商品企画販売事業(「Syan」)、転送サービス事業(「転送コム」)

（事業区分の方法の変更）

従来「コマースインキュベーション事業」に含めて表示していたバリューサイクル事業は、当該事業区分の売上割合が増加しており今後もこの傾向が予想されるため、前連結会計年度より「バリューサイクル事業」として区分表示することに変更しました。

なお、前第２四半期連結累計期間の事業の種類別セグメント情報を変更後の事業区分により表示すると、以下のとおりとなります。

前第２四半期連結累計期間（自　平成20年10月１日　至　平成21年３月31日）

	ギャザリング事業（千円）	バリューサイクル事業（千円）	コマースインキュベーション事業（千円）	計（千円）	消去又は全社（千円）	連結（千円）
売上高						
（１）外部顧客に対する売上高	5,827,247	669,228	244,568	6,741,044	―	6,741,044
（２）セグメント間の内部売上高又は振替高	3,283	―	28,457	31,741	△31,741	―
計	5,830,531	669,228	273,026	6,772,785	△31,741	6,741,044
営業利益又は営業損失（△）	342,457	14,428	△76,269	280,616	36,686	317,302

〔所在地別セグメント情報〕

前第２四半期連結会計期間（自　平成21年１月１日　至　平成21年３月31日）及び当第２四半期連結会計期間（自　平成22年１月１日　至　平成22年３月31日）並びに前第２四半期連結累計期間（自　平成20年10月１日　至　平成21年３月31日）及び当第２四半期連結累計期間（自　平成21年10月１日　至　平成22年３月31日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合がいずれも90％超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

〔海外売上高〕

前第２四半期連結会計期間（自　平成21年１月１日　至　平成21年３月31日）及び当第２四半期連結会計期間（自　平成22年１月１日　至　平成22年３月31日）並びに前第２四半期連結累計期間（自　平成20年10月１日　至　平成21年３月31日）及び当第２四半期連結累計期間（自　平成21年10月１日　至　平成22年３月31日）

海外売上高は、いずれも連結売上高の10％未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

６．その他の情報

該当事項はありません。